

循環型社会の構築など環境問題への対応

① 港湾を拠点とする広域的な静脈物流システムの構築

指標：循環資源国内輸送コスト低減率【H14比約1割減（H19）】

広域的なりサイクル施設の立地に対応した総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）の形成を図り、低コストで環境に優しい海上輸送による全国規模での静脈物流ネットワークを構築します。

▼港湾管理者からの申請に基づいて国が指定した港湾をリサイクルポートとして育成します。



▲廃タイヤの積み入れ（姫路港）

▼廃プラスチックの積み入れ（苫小牧港）



●リサイクルポート育成への取組み

- ・港湾における循環資源の取扱に関するガイドラインを作成し、循環資源の円滑な取扱を促進
- ・静脈物流ネットワーク形成のための情報交換の場を提供するなど、港湾管理者と民間事業者の連携を促進
- ・循環資源を扱う岸壁や臨港道路等の港湾施設の整備を推進等

② 港湾、海域における干潟等の保全・再生・創造

指標：失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合【H19までに約3割再生】

良好な自然環境の保全と失われた自然環境の再生・創造により、良好な港湾環境を形成するとともに、海域環境の改善を図るため、干潟等の保全・再生・創造を推進します。



▲干潟の再生の例（尾道糸崎港）



▲干潟観察会の例（千葉港）